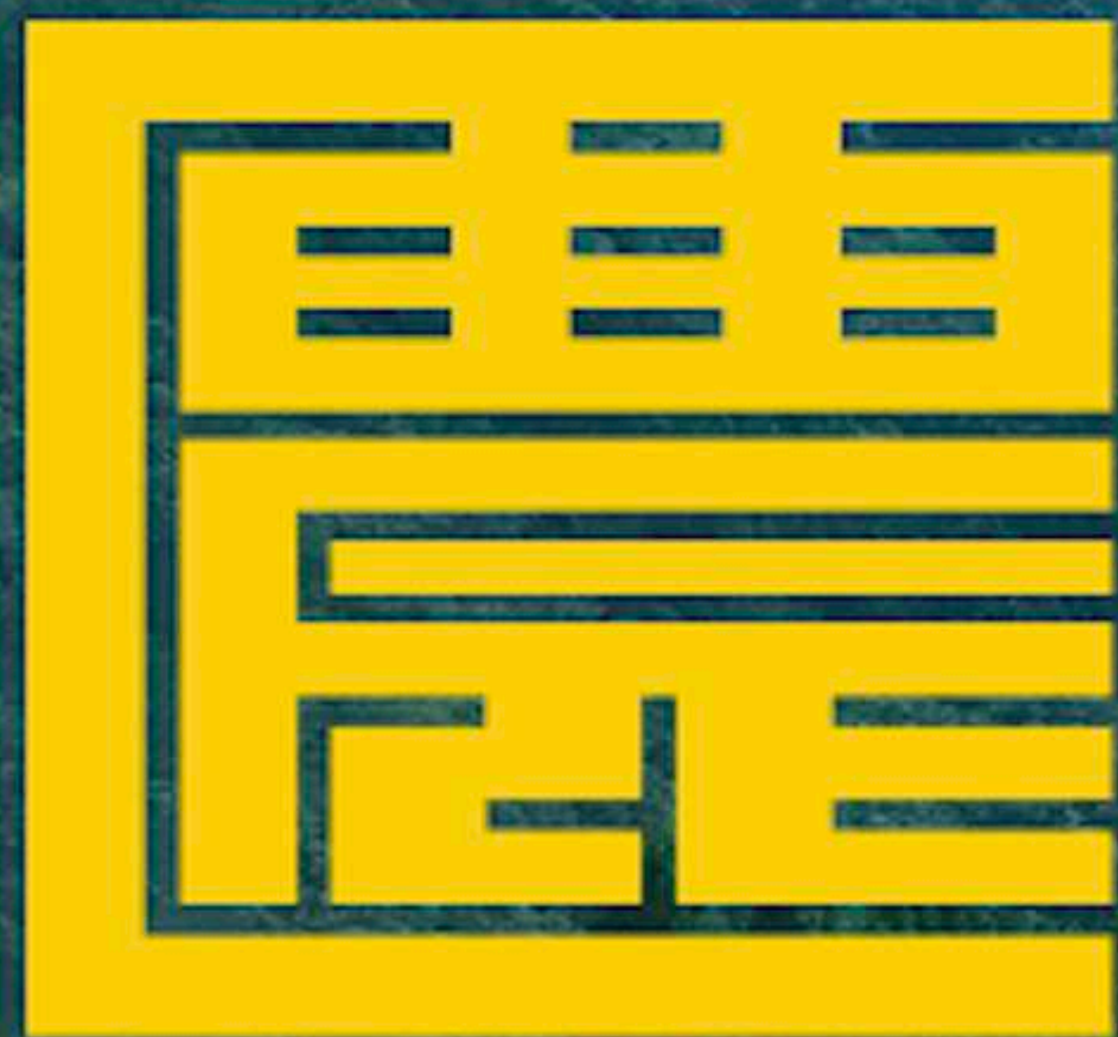


The CAMPus



次なる生き方はココにある

コンパクト
農ライフ塾

COMPACT FARMING SCHOOL

第2期 | 申込受付中

2020年7月18日スタート

6/12・20・26、7/4
オンライン説明会開催

媒体資料

株式会社The CAMPus BASE

【お問合せ】 TEL：050-5360-5767 Mail：compactagrischool@thecampus.jp 担当：小林・源口

【HP】 <https://thecampus.jp/compactagri/> 申込み：<https://thecampus-compactagri-2.peatix.com/>

コロナ禍で時代が激変する今、 「農」で新しい生き方を創る 【コンパクト農ライフ塾】

インターネットをプラットフォームとした次世代型の農学校「the campus（ザ・キャンパス）」を運営する株式会社The CAMPus BASE（ザ・キャンパス・ベース）（東京都港区、代表 井本喜久）が、今年から開始した新サービス「コンパクト農ライフ塾」。『コンパクト農ライフ』とは「小さい農的暮らし」と「小さい農的商い」をハイレベルに両立させる、小さくとも質実剛健な新しい農家スタイルのこと。社会人を続けながら新規就農を目指す人や、副業として半農を目指す人、既に就農しているが事業成長を目指す人、などを対象に「0.5haで年商1000万」を基準値にした、日本初のコンパクト農家の育成に特化した完全オンラインの短期集中型スクールです。



極小農地で年商1000万

日本初「コンパクト農家」育成専門講座

スペシャル講師陣を迎え

完全オンラインにて超短期集中で開講。

コンパクト農家とは「小さい農的暮らし」と「小さい農的商い」をハイレベルに両立させる、質実剛健な新しい農家スタイル。新規就農を目指す社会人や、副業で農業をやりたい人、事業成長を目指す既存農家、などを対象に「0.5haで年商1000万」を基準にした、コンパクト農家専門オンラインスクール。

コンパクト農ライフ塾の特徴①

コンパクト農家は、ビジネス面での基準値を「0.5ha※で年商1000万」に設定。
これをどう達成できるかに力点を置きながら、新時代の農的暮らしのデザインについて学びます。

POINT
01  **業界屈指の講師陣！**

農業界で有名なプロ中のプロたちを講師に迎え、
初心者にも解りやすい内容で講座を行っていきます。

POINT
02  **稼げる農ライフを伝授！**

事業計画の立て方から就農、生産、流通、販売まで
農業開始前に必須となる知識をしっかりと伝授します。

POINT
03  **完全オンライン受講！**

毎週土曜日に、オンラインで、1講座×2時間の全10講座を
1か月半の短期集中で学ぶことができます。



コンパクト農ライフ塾の特徴② -概要-

受講料

1~2講座 × 6日間
= 全10講座

一般	178,000円 (+税)
<hr/>	
The CAMPus 有料会員	169,100円 (+税)

※受講料には、入学金・学費・その他諸経費が含まれます。

開催場所

オンラインで
Zoomを使用しています。

定員

20名

※予定数に達した時点で受付を終了します。
※基本的に申し込み後のキャンセルはお断りしております。

オプション受講

より学びを深めたい方へ
農業学校AICの講義を追加で学べる

The CAMPusが提携している社会人向け農業学校「AIC（アグリイノベーション大学校）」が提供する座学講義34コマ・特別講義2コマ・現地視察2コマの中から、お好きなものどれでも6講座選択可能です。
詳細は事務局までお問い合わせください。
入学後でも申込み可能です。

オプション受講料

AIC講座チケット6枚（6講座）

一般	90,000円 (+税)
<hr/>	
The CAMPus 有料会員	85,500円 (+税)

1回2時間 全10回のプログラム

毎回講義後にはプチ懇親会もあり。

第1回 未来型農業の入口～マーケティング計画
農作物を作るよりまずはブランドを創ろう。




貸農園からスクールまで
農ビジネスのカリスマ
西辻一真
マイファーム/代表

第2回 超・新規就農方法論
お金も経験も縁もないけど新規就農は出来る。




新規就農者のバイブル
「成功する農業」の著者
岩佐 大輝
GRA代表取締役CEO

第3回 コンパクト農業～野菜編
コンパクトって何だ？あたり前の野菜づくりを
スゴイものに変える




0.3haで1,200万円！
日本一小さい農家
西田 栄喜
石川県能美市/風来

第4回 コンパクト農業～果樹編
一見ハードルの高そうな果樹経営も
コンパクトにやれば進化できる




市場から求められる
半農半”伝”柑橘農家
菅 秀和
citrus farms たてみち屋

第5回 コンパクト農業～畜産編
大規模が前提の畜産も、逆転の発想で
小規模だから上手くいく




放牧酪農で持続可能な
未来を目指す農的経営者
新村 浩隆
北海道/十勝しんむら牧場

第6回 革命的“農”ブランディング論
最新ブランディング手法を農業に取入れたら
スゴイことになった




一次産業をリデザインする
スーパーアートディレクター
阿部 岳
ファームステッド

第7回 革命的“農”流通論
地産地消から適産適消。地域から世界へ羽ばたこう




星嫌いのスーパー
スター・ファーマー
梶谷ユズル
広島県三原市/梶谷農園

第8回 農リアルテクノロジー経営
良いものをコンパクトに創り売るための
テクノロジー経営




都市と地方をかき混ぜて
一次産業の未来を変える男
高橋 博之
ポケットマルシェ

第9回 独自ファンコミュニティ形成
マーケティングの成功はファンコミュニティの
形成が物語る




農で街づくりを牽引する、
東京の風景を変える男
太田 太
東京都青梅市/Ome farm

第10回 プレゼンテーション大会
さて、あなたはどんなコンパクト農業を
やるのでしょうか



※講師は一部抜粋になります。また、講座の内容は変更になる場合がございます。

業界屈指の講師陣を全国から集めました。

講師陣の取材も随時受付中です。詳しくはお問合せください。



マイファーム代表

貸農園からスクールまで
農ビジネスのカリスマ

西辻 一真



1982年福井県生まれ、2006年京都大学農学部資源生物科学科卒業。大学を卒業後、1年間の社会人経験を経て、幼少期に福井で見た休耕地をなんとかしたい！という思いから、「自産自消」の理念を掲げて株式会社マイファームを設立。その後、体験農園、農業学校、流通販売、農家レストラン、農産物生産など、独自の観点から農業の多面性を活かした種々の事業を立ち上げる。2010年、戦後最年少で農林水産省政策審議委員に就任。2016年、総務省「ふるさとづくり大賞」優秀賞受賞。2018年より東京農業大学客員教授就任。将来の夢は世界中の人が農業（土に触れていること）をしている社会を創ること。

HP | <https://myfarm.co.jp/>



宮城県山元町/株式会社GRA

99%のピンチをチャンスへ
逆転させる男

岩佐 大輝



1977年、宮城県山元町生まれ。日本および海外で複数の法人のトップを務める起業家。2002年、大学在学中にITコンサルティングサービスを主業とするズノウを起業。2011年の東日本大震災後は、壊滅的な被害を受けた故郷山元町の復興を目的にGRAを設立。先端施設園芸を軸とした「東北の再創造」をライフワークとするようになる。農業ビジネスに構造変革を起こし、ひと粒1000円の「ミガキイチゴ」を生み出す。著書に『99%の絶望の中に「1%のチャンス」は実る』（ダイヤモンド社）、『甘酸っぱい経営』（ブックウォーカー）、『絶対にギブアップしたくない人のための成功する農業』（朝日新聞出版）がある。人生のテーマは「旅するように暮らそう」。趣味はサーフィンとキックボクシング。

HP | <http://www.gra-inc.jp/>



株式会社ポケットマルシェ

都市と地方をかき混ぜて
一次産業の未来を変える男
高橋 博之



団塊ジュニアの最後の年、1974年に岩手県花巻市に生まれる。前年、高度経済成長が終わる。その残像を引きずる団塊世代から、都会の会社でネクタイ締める人生がよいとの価値観を刷り込まれ、18歳で上京。見つかるわけもない自分探しに没頭（2年生を3回やりました）。大学出るときは超就職氷河期で、大きく価値観が揺さぶられる。新聞社の入社試験を100回以上受け、全滅。29歳、リアリティを求め、帰郷。社会づくりの矢面に立とうと、政治家を目指す。岩手で県議を2期やって、震災後の県知事選に挑戦し、被災地沿岸部270キロをぜんぶ歩いて遊説するという前代未聞の選挙戦を戦い、散る。口で言ってきたことを今度は手足を動かしてやってみようと、事業家に転身。生産者と消費者を「情報」と「コミュニケーション」でつなぐマイクロメディア、東北食べる通信を創刊。定員1500人の目標を達成する。その後、日本食べる通信リーグを創設し、現在、全国各地にご当地食べる通信が誕生。「世なおしは、食なおし。」「都市と地方をかき混ぜる」の旗を掲げ、20キロのスーツケースをガラガラ引きずりながら、全国各地を行脚する寅さん暮らしを送る。2016年9月、食べる通信をビジネス化した新サービス、ポケットマルシェを始める。

HP | <https://poke-m.com/>



広島県三原市/梶谷農園

星嫌いのスーパースター
・ファーマー
梶谷 ユズル



国内外の凄腕シェフから引く手あまたの「スーパースター・ファーマー」は、1979年に広島県三原市久井町に生まれました。当時、年商1億円もあげるほどのハーブ農園を運営していた両親は海外視察に彼を連れていくことも多く、その影響で中学2年生からカナダの学校に通います。大学はトロントの郊外にある農業系大学へ。その後、北米トップクラスの園芸学校「ナイアガラ・ボタニカル・ガーデン」で植物についての知識を深めます。2007年に帰国、父を継ぎ、農園のオーナーとなりました。「星付きレストラン専用のハーブ栽培」を経営方針とし、シェフの細やかなニーズに応えることができる生産体制を確立。現在10年目で契約レストラン150件、海外研修生も含め約15人のスタッフを抱えます。美食家で読書家、奥様と3人の子どもたちの夕食を毎日担当する料理好きのパパでもあります。

HP | <http://kajiyafarm.jp/>

受講生のターゲット層・ペルソナ

＼ こんな方におすすめ /

地方や海外に住んでいる。
けど仲間や師匠に出会いたい…等



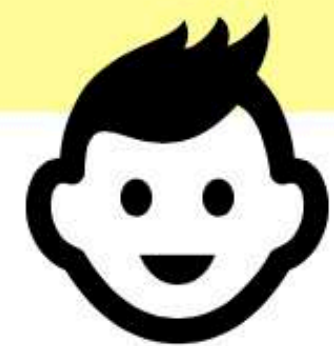
＼ こんな方におすすめ /

これから農的くらしをはじめたい。
兼業農家や週末農家になりたい…等



＼ こんな方におすすめ /

新規事業で農業をやりたい。
農園オーナーになりたい…等



自然に寄り添う農業を
実践したいけれど、
やり方がわからない

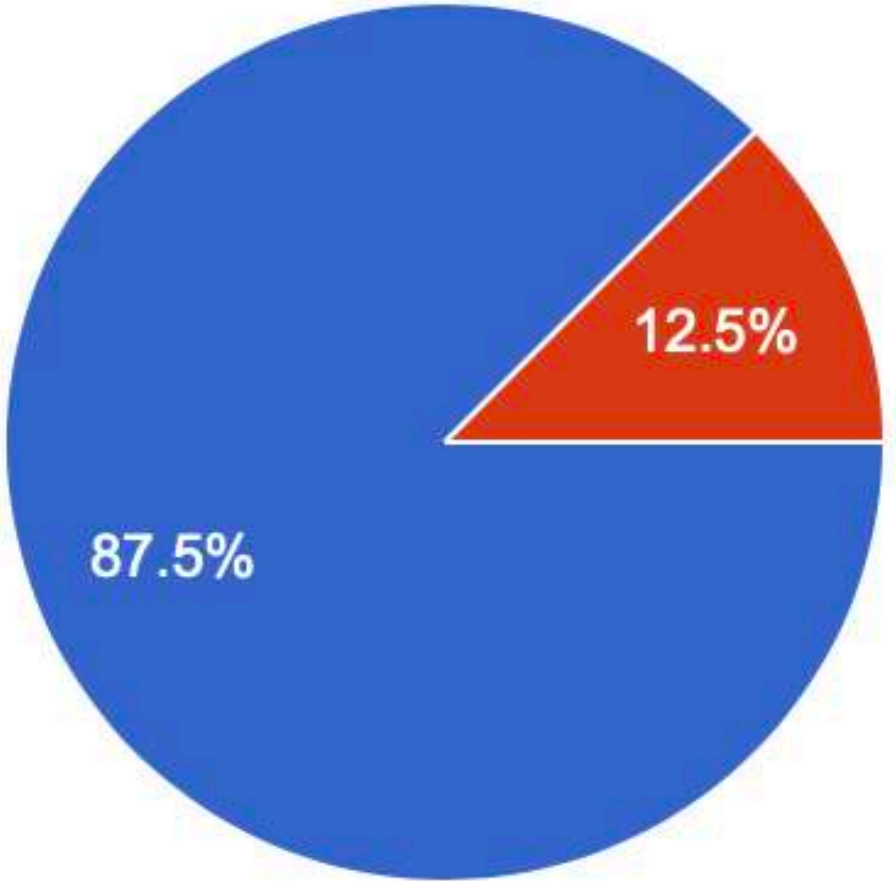
耕作放棄地を0にしたい。
環境再生型農業や循環農業
に興味がある

家族と田舎へ移住して
自給自足の暮らし
農業を軸に家族を養いたい

今の仕事に満足していない
セカンドキャリアで
農業をやってみたい



実際に講座を受けて内容はいかがでしたか？



- 大変満足
- 満足
- 普通
- やや不満
- 不満

大変満足 87.5%
満足 12.5%

【受講生の属性】

- ・ 種苗メーカー勤務 (34歳・男性)
- ・ 農協職員 (39歳・男性)
- ・ 旅行コンシェルジュ (36歳・男性)
- ・ 会社経営・役員 (38歳・男性)
- ・ 飲食店オーナー (43歳・女性)
- ・ フリーランス (31歳・女性)
- ・ 通信高校教師 (28歳・女性)
- ・ 元牧場勤務 (30歳・女性)



パーマカルチャーに興味があり、セカンドキャリアで環境再生型農業や循環農業を実践したくて参加しました。全国で成功されている農家さんのリアルな講座を受けられるのはとても貴重です。(26歳・元会社員)

近い将来、家族と一緒に農ある暮らしを実現したいと思い、受講を決めました。オンラインなので仕事をしながら短期間で学べるのはありがたい。(42歳・男性・経営者)

第一回目から本質だらけの講義で、ずっと目から鱗でした。入学して本当に良かったと思いましたし、今後が楽しみです！(40歳・女性・飲食店経営)

15万円の講座に申し込むか否かを迷っていましたが、既にもうそれ以上の価値ある時間を頂いています。久しぶりにこんなに刺激を受け、ワクワクする気持ちにアクセルがかかっています。将来は知人とフィリピンで養鶏を営む予定です。(38歳・女性・シンガポール在住)

毎回の講座終わりに懇親会があるので、仲間の受講生と横のつながりができて嬉しい。将来は、動物と触れ合える畑を持ちたい。(28歳・元牧場勤務)



TheCAMPusの事業例 インターネット農学校TheCAMPus

人生を楽しくするインターネット農学校
TheCAMPus

The CAMPusの講義は
 プロ農家たちから学べる「WEBマガジン」

全国にいる「楽しく・格好よく・健康的に・儲かっている」成功農家たちの暮らしと商売に関する哲学やノウハウを「講義」という名の有料WEBマガジンにして配信しています。

教授数70名。
 約2,000名の
 生徒たちが農を
 学んでいます。

- 5学科23学類**
 多種多様な農に関する学びを発信！
- 月学500円~**
 (入学金500円)
 ワンコインで手軽に気軽に学べる！
- 毎週更新**
 週3~4本ペースで新記事更新！

WEBマガジン以外にも、次世代の“農”への興味関心を高める 様々な活動を展開中

生徒（登録者）約2000人のうち、6割が社会人、コア年齢層は30代~50代で、

都会に暮らすビジネスマン・OLなど中心に学ばれています。

<p>野菜ジュース屋の農的循環学</p> <p>のぼす学科 農飲食学類 2020/05/28</p> <p>ジュースから生まれたアパレルブランド『Lefts,』制...</p> <p>コウノリ / 東京都港区 サンシャインジュース代表</p>	<p>尾道発 地域をつくる青パイヤ学</p> <p>そだてる学科 果実学類 2020/05/21</p> <p>通年販売のための青パイヤ収穫と営業の秘訣</p> <p>内海千晴 / 広島県尾道市 尾道パイヤ代表</p>	<p>「世界最高米」の育成学</p> <p>そだてる学科 穀物学類 2020/05/14</p> <p>感情論を裏付ける、お米を世界最高米に育てる秘訣</p> <p>水野尚哉 / 長野県飯山市 Faith Farm 代表</p>
<p>未来につなぐ、暮らしと森のデザイン学</p> <p>そだてる学科 山林学類 2020/04/30</p> <p>街に森を持ち込むという逆転の発想</p> <p>足立 成亮 / 北海道札幌・旭川 Outwoods代表</p>	<p>生き物の力を借りる 循環型合鴨農法学</p> <p>そだてる学科 穀物学類 2020/04/22</p> <p>14ヘクタールの田んぼの稲刈りを1週間で!井関農園の収...</p> <p>井関俊輔 / 兵庫県丹波篠山市 井関農園</p>	<p>100年伝わる“皮ごと”食べれるりんご学</p> <p>そだてる学科 果実学類 2020/04/16</p> <p>リピート率90%!ファンがつく“りんご”の秘密</p> <p>松澤みどり / 長野県小諸市 松澤農園 代表</p>
<p>飲食店から選ばれ続ける農スタイル学</p> <p>のぼす学科 農販促学類 2020/04/09</p> <p>希少価値のある新顔野菜「ピーツ」のニーズ</p> <p>由良大 / 兵庫県豊岡市 株式会社Teams 楽農や</p>	<p>日本発“ラグジュアリー”いちごの農ブランド学</p> <p>のぼす学科 農販促学類 2020/04/01</p> <p>「ラグジュアリーないちご」は世界に誇れる農業コンテンツ</p> <p>宮澤大樹 / 三重県伊賀市 遊士屋株式会社 共同創業者/代表取締役</p>	<p>明るく、楽しい!地球共存型農業学</p> <p>はじめる学科 新規就農学類 2020/03/23</p> <p>商品開発論~農家だからできる商品開発の6つの鉄則</p> <p>中山智文 / 長野県上伊那郡南箕輪村 momoGファーム代表</p>

2019~21年度 農林水産省
山村活性化支援 対象事業

広島県竹原市『TAMARIBA』プロジェクト

全国各地で増え続ける「過疎の進む農村」を元気に復活するプロジェクト。
広島県竹原市田万里町を舞台に「稲作中心の衰退した農村を5年で活性化し成長軌道に乗せる」ことをミッションに掲げ、菜の花と水稻を二毛作しながら『菜種あぶら』『米糠あぶら』そして米粉で作る『揚げパン』をそれぞれ製造しながら地域のリブランディングを展開していく。



「菜の花畑で地元で絶景をつくりたい」という想いからこのプロジェクトは始まりました。

田万里は人口422人（世帯数約170世帯）の稲作中心の農村です。近年では高齢化が進み、農業の継承も難しい状況が続いています。田万里町にある稲作の田舎は、多くがその昔は耕作地でした。近年は耕作放棄が進み、地元民で農業組合員をつくらせて耕作を続けていますが、若い世代の継承までは定まらずにいます。



町の中には空っぽの多い田舎2軒が東西に伸びており、その奥に広がる多くの耕作放棄地が田舎の風景に美しい景色が広がるというアイデアからプロジェクトは始まりました。5月のGWに周辺の地域とより、全国からメンバーが集まって賑やかに盛りだるな集まりが実現したら...

プロジェクトの実施場所（拡大地図）



事業目的

プロジェクトのミッション

「稲作中心の衰退した農村を5年で活性化し成長軌道に乗せる」

プロジェクトKPI

- ・5年で年商約3000万の事業を作り出すこと
- ・5年で地域生活者を2%増加させる

活性化への必須要素



生み出す2つのブランド

田万里屋
TAMARI-YA

商品

産地産物を使った加工品を4次化、田万里の産物を全国に届ける商品の開発。

TAMARIBA

場所

旧小学校をリノベーションして誕生させるプロジェクトの拠点となる場所。

事業の内容② 軸となる3つの商品開発

田万里屋
TAMARI-YA

菜種あぶら



200ml瓶入りShakeタイプ
菜種油/238リットル
※720ml瓶入り/約300本
※1リットル瓶入り/約120本

米糠あぶら



200ml瓶入りShakeタイプ
米糠油/238リットル
※720ml瓶入り/約290本
※1リットル瓶入り/約116本

揚げパン



カレー、たまごサラダ、さんぷら、菜の花スープ、シリアル、あんこ、地域で作られた野菜や味噌をふんだんに使ったライナップ、※3日あたり500個を販売

事業の内容③ プロジェクトの拠点となる旧小学校リノベーション

TAMARIBA

- 1F**
 - ・揚げパンカフェ
 - ・精油工房
- 2F**
 - ・イベントスペース + ラウンジ (アカデミーサロン)
- 3,4F**
 - ・農体験ツアー 客用ホステル (個室 & ドミトリー)



名称 : 株式会社The CAMPus BASE

所在地 : 〒107-0062 東京都港区南青山6-1-32 南青ハイツ202

設立 : 2018年4月

資本金 : ¥40,800,000- (2019年12月現在)

代表者 : 代表取締役 井本喜久 ※プロフィール

活動理念 : 世界を「農」でオモシロくする。

設立目的 : 新型農家の誕生を促進し“農”というムーブメントを軸に
個々人の暮らしの質を高めていき地域活性化を実現する。

【本件に関するお問合せ】

TEL : 050-5360-5767 Mail : compactagrischool@thecampus.jp

担当 : 小林・源口

HP : <https://thecampus.jp/compactagri/>

申込み : <https://thecampus-compactagri-2.peatix.com/>



代表井本・各講師陣
受講生の取材も受付中！
授業の様子もご覧頂けます

株式会社The CAMPus BASE 代表取締役
一般社団法人 The CAMPus 代表理事
ブランディングプロデューサー

広島の限界集落にある米農家出身。東京農大を卒業するも広告業界へ。26歳で起業。コミュニケーションデザイン会社COZ(株)を創業。2012年表参道でBrooklyn Ribbon Friesを創業し食ブランド事業もスタート。2016年新宿駅屋上で都市と地域を繋ぐマルシェを開催し延べ10万人を動員。2017年「世界を農でオモシロくする」をテーマにインターネット農学校The CAMPusを開校。生徒数はおよそ2000人。全国約70名の凄腕農家さんを教授に迎え、農的暮らしのオモシロさをワンコインの有料ウェブマガジンとして配信中。2018年(株)The CAMPus BASE設立。全国の様々な地域で限界集落や耕作放棄地を再生するプロジェクトをプロデュース中。